

HP ALM

ソフトウェアバージョン: 12.00

新機能

ドキュメントリリース日: 2014 年 3 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 3 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が与えられます。

著作権について

© Copyright 2002 - 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Intel® は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

Unix® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passportのログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやTILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは <http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

目次	4
はじめに	6
本書の構成	6
第1章: HP ALM の新機能	8
HP Application Lifecycle Management 12.00	8
外部認証	8
新しいルック・アンド・フィール	9
新しいALM Web クライアント	10
全般的な更新	11
利用可能な機能の変更	11
管理の更新	12
Docs on Tap: リファレンスにモバイル・アクセスできる管理者向け新機能	14
Business Process Testing	14
ラボ管理	16
ALM ヘルプ	17
第2章: HP ALM Performance Center の新機能	18
パフォーマンス・テストで使用するクラウド・ホストのプロビジョニング	18
My Performance Center の更新	18
Analysis テンプレート	19
PAL の拡張機能	19
Performance Center REST API Reference	19
プロトコルの拡張機能	19
Virtual User Generator の機能拡張	19

はじめに

HP Application Lifecycle Management(ALM) によろこそ。ALM は、要件定義からデプロイメントまで、コア・アプリケーションのライフサイクル全体を管理する強力なツールです。ALM を使用することにより、最新のアプリケーションを予測可能、繰り返し可能、柔軟な適応が可能な形で提供するのに不可欠な可視性とコラボレーション環境を実現できます。

本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

- 「HP ALM の新機能」(8ページ)
- 「HP ALM Performance Center の新機能」(18ページ)

新機能
はじめに

第1章: HP ALM の新機能

この新機能ガイドでは HP Application Lifecycle Management(ALM) 12.00 で導入された機能や拡張された機能の概要を説明します。ALM の使用方法の詳細については、『HP Application Lifecycle Management ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

ALM のメイン・ウィンドウで[ヘルプ]>[ムービー]を選択すると、HP Application Lifecycle Management の機能について説明するビデオもご覧いただけます。

HP Application Lifecycle Management 12.00	8
外部認証	8
新しいロック・アンド・フィール	9
新しい ALM Web クライアント	10
全般的な更新	11
利用可能な機能の変更	11
管理の更新	12
Docs on Tap: リファレンスにモバイル・アクセスできる管理者向け新機能	14
Business Process Testing	14
ラボ管理	16
ALM ヘルプ	17

HP Application Lifecycle Management 12.00

HP Application Lifecycle Management(ALM) は、要件からデプロイメントまで、主要アプリケーションのライフサイクルを管理するために組織を強化し、最新アプリケーションの予測可能かつ反復可能で適合性の高い展開のために重要不可欠となる可視性と協調性をアプリケーション・チームに供与します。

ALM は、アプリケーションのライフサイクル管理に関するすべての段階をサポートしています。ALM でアプリケーション管理に関するあらゆる作業を統合することにより、ビジネスのニーズに合わせた活用が可能になります。

ALM には Performance Center の機能も含まれています。このため、Web 経由でアクセスできる一元集中管理された場所から、リソースの割り当てやスケジュール設定など、大規模なパフォーマンス・テスト・プロジェクトに関するあらゆる側面を管理できます。Performance Center の新機能の詳細については、「[HP ALM Performance Center の新機能](#)」(18ページ)を参照してください。

外部認証

HP ALM は、スマート・カード認証やシングル・サインオンなどの外部認証システムをサポートします。


- **スマート・カード認証**: スマート・カードとは、セキュアなシステムでのユーザ識別に使用する物理デバイスです。スマート・カードには、ユーザIDの検証とセキュアな環境へのアクセス許可の両方に必要な証明書を保存できます。現在、ALMはスマート・カード認証としてCAC(Common Access Card)をサポートしています。ALMは、JITC認定です。詳細については、http://jitc.fhu.disa.mil/pki/pke_lab/app_testing/application_status.html(英語サイト)を参照してください。
- **シングル・サインオン**: シングル・サインオン(SSO)とはセッションやユーザの認証プロセスであり、ユーザはユーザ名とパスワードを1回入力することによって複数のアプリケーションにアクセスできるようになります。現在、ALMはシングル・サインオン認証としてSiteMinderをサポートしています。

HP ALMでは、ユーザ名とパスワードを手動入力する標準的な認証モデルの代わりに、このような外部認証システムを使用する設定が可能です。外部認証ユーザによるALMへのログインでは、ユーザ名とパスワードの入力は必要ありません。

新しいロック・アンド・フィール






このバージョンのALMには、まったく新しいロック・アンド・フィールが追加されています。詳細については、『HP Application Lifecycle Management ユーザーズ・ガイド』の「起動方法」および「共通領域」を参照してください。

このような設計変更に伴い、ALMのメイン・ウィンドウは次の2点で大きな変更が行われています。

- [ツール]メニューがマストヘッドから削除されました。メニュー項目のほとんどはマストヘッドの  からアクセスできます。
- [ヘルプ]メニューは、マストヘッドからサイドバーの下に移動しました。

変更内容を次の表にまとめます。

旧バージョン	ALM 12.00
[ツール] > [プロジェクトを変更]	<ドメイン, プロジェクト>
[ツール] > [カスタマイズ]	 > [カスタマイズ]
[ツール] > [新規不具合]	 > [新規不具合]
[ツール] > [スペルと文法]	 > [スペルと文法]
[ツール] > [履歴のクリア]	 > [履歴のクリア]
[ツール] > [タスクマネージャ]	 > [タスクマネージャ]
[ツール] > [スタンドアロンのアプリケーションのダウンロード](PCのみ)	 > [スタンドアロンアプリケーションのダウンロード](PCのみ)

旧バージョン	ALM 12.00
[ツール] > [イベント ログ](PC とALM エディション)	 > [イベント ログ](PC のみ)
[ツール] > [ラボ設定](PC Edition とALM Edition のみ)	 > [ラボ設定](PC Edition とALM Edition のみ)
[ツール] > [Performance Center Controller のオプション](PC のみ)	 > [Performance Center Controller のオプション](PC のみ)
[ツール] > [My Performance Center](PC のみ)	 > [My Performance Center](PC のみ)
[ヘルプ] > [このページのヘルプ]	
[ヘルプ] > [文書ライブラリ]	[ヘルプ] > [ALM ヘルプ]
[ヘルプ] > [HP ソフトウェア サポート]	[ヘルプ] > [ソフトウェア サポート オンライン]
[ヘルプ] > [HP ソフトウェア Web サイト]	[ヘルプ] > [HP ソフトウェア Quality Center Web サイト]
[ヘルプ] > [ALM Web サイト]	[ヘルプ] > [HP Application Lifecycle Management Web サイト]
[ヘルプ] > [ALM コミュニティフォーラム]	[ヘルプ] > [ALM コミュニティ]
[ヘルプ] > [HP Application Lifecycle Management ソフトウェアのバージョン情報]	[ヘルプ]: 現在実行中のALMコンポーネントのバージョンがウィンドウの右側に表示されます。

次のメニュー項目は削除されました。

- [ツール] > [ドキュメント ジェネレータ]
- [ヘルプ] > [ようこそ] ページ

新しい ALM Web クライアント

ALM Web クライアント ではアプリケーション・ライフサイクルの管理ユーザ・インタフェースが新しく提供されており、先進的な製品とソリューションの提供というHPの継続的な取り組みの対象になっています。ALM Web クライアント は、便利で使いやすいインタフェースと新しい機能によって作業効率を高め、ユーザ・エクスペリエンスを向上します。

注: 現在、ALM Web クライアント は要件モジュールと不具合モジュールをサポートしています。

ALM Web クライアント ではクライアント・コンポーネントをコンピュータ上にダウンロードしないので、ALMを使用する際に管理者権限が必要なくなりました。ALM Web クライアント は幅広いブラウザとオペ

レーティング・システム環境で使用できます。サポートされるブラウザとオペレーティング・システムについては、ALMリリース・ノートを参照してください。

ALM Web クライアント では次に示すように、ALM デスクトップ・クライアント にはない機能を使用できません。

- **作成モード**:ドキュメント中心の表示モードです。1つのドキュメント・ビューで要件を一覧表示でき、説明を簡単に編集できます。このモードは、全体像を把握するときに便利です。
- **カテゴリ・ビュー**:仮想フォルダに基づく動的な階層構造であり、要件ビューを柔軟に操作できます。新しいカテゴリ・フィールドを選択すると、それに基づいてリアルタイムでビューが更新されます。このビューは柔軟な機能を備えているので、要件の構成を決めるときに便利です。

上記の機能の詳細については、ALM Web クライアントユーザーズ・ガイドを参照してください。

ヒント: ALM のデモ・プロジェクトである ALM_Demo には、ALM Web クライアント の学習に便利なデータとエンティティが含まれています。重要なプロジェクトの詳細については、『HP Application Lifecycle Management 管理者ガイド』を参照してください。

全般的な更新

HP Application Lifecycle Management 12.00 には、次のユーザビリティの拡張機能が追加されました。

添付へのクイック・アクセス

エンティティの添付アイコンをクリックすると、添付のリストが表示されます。添付ファイルをリストから直接開くことができます。

固定項目

要件、テスト計画、不具合の固定が可能です。詳細については、『HP Application Lifecycle Management ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

メモ・フィールドのズーム・インとズーム・アウト

リッチ・コンテンツのメモ・フィールドのツールバーに、ズーム・インとズーム・アウトのボタンが追加されました。

クロス・プロジェクト・ビジネス・ビュー Excel レポート

ビジネス・ビュー Excel レポートは、複数のプロジェクトのデータを使用して作成できます。データはプロジェクトごとにソートされて表示されます。

利用可能な機能の変更

HP Application Lifecycle Management 12.00 では、次の機能の一部が利用できなくなりました。

- Excel レポート

管理の更新

この項では、HP Application Lifecycle Management 12.00 の管理の機能強化について説明します。

サイト設定

[サイト設定]タブに、次のパラメータが追加されました。

- カスタマイズ:
 - DISABLE_ASYNC_CUSTOMIZATION_LOAD
- 外部認証:
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_CRL_CHECK
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_CRL_FOLDER
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_DELTA_CRL_CHECK
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_LOCAL_CRL_CHECK
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_OCSP_CHECK
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_OCSP_REQUIRED
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_POLICY_CHECK
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATE_VALID_POLICY
 - EXTERNAL_AUTH_CERTIFICATES_FILE
 - EXTERNAL_AUTH_DEBUG_LEVEL
 - EXTERNAL_AUTH_EXECUTION_MODE_HEADER_NAME
 - EXTERNAL_AUTH_EXTENDED_HARDWARE_KEYS
 - EXTERNAL_AUTH_HARDWARE_CARD_IS_REQUIRED
 - EXTERNAL_AUTH_HEADER_NAME
 - EXTERNAL_AUTH_IS_POLICY_REQUIRED
 - EXTERNAL_AUTH_MODE
 - EXTERNAL_AUTH_USER_FIELD_PATTERN

- EXTERNAL_AUTH_USER_FIELD_TYPE
- EXTERNAL_AUTH_VALIDATE_USER_IN_LDAP
- 入力の検証:
 - INPUT_VALIDATION_LOGPATH
 - INPUT_VALIDATION_MODE
- プロジェクトの計画と追跡:
 - PPT_KPI_FAILURES_PERCENTAGE_PER_RELEASE_FUSE
 - PPT_RECENTLY_USED_PROJECTS_THRESHOLD_MINUTES
- REST API:
 - DOWNLOAD_REST_ATTACHMENTS
 - REST_API_HTTP_CACHE_ENABLED
 - REST_API_MAX_BULK_SIZE
 - REST_API_MAX_ENTITY_TREE_SIZE
- セキュリティ:
 - ENABLE_JMX_CONSOLE
 - ENABLE_OUTPUT_SANITIZATION
 - ENABLE_XSRF_VALIDATION
 - OUTPUT_SANITIZATION_BY_CLIENT_TYPE
 - TEXT_ENCODING_BY_CLIENT_TYPE
- Web UI:
 - ALLOW_WEBUI_ACCESS

新しいパラメータの詳細については、『HP Application Lifecycle Management 管理者ガイド』を参照してください。

外部認証パラメータの詳細については、『HP Application Lifecycle Management External Authentication Configuration Guide』を参照してください。

Docs on Tap: リファレンスにモバイル・アクセスできる 管理者向け新機能

一部のリファレンス情報にモバイル・デバイスからアクセス可能になりました。これにより、外出先でもリファレンス情報に簡単にアクセスできるようになります。

この情報セットは **Docs on Tap** と呼ばれ、次の内容が含まれます。

- エディションに関する情報
- システム要件
- サイト・パラメータ
- ワークフロー・リファレンス
- データベース・リファレンス
- インストールとアップグレードのトラブルシューティング
- その他役立つリンク

Docs on Tap には、次の方法でアクセスします。

- **HPLN による PDF ダウンロード**: [[ALM 12.00 Docs on Tap](#)] をクリックして PDF をダウンロードします。
- **SSO による PDF ダウンロード**: [[製品 マニュアル](#)] をクリックして HP ALM 12 Docs on Tap をダウンロードします。

Business Process Testing

HP Application Lifecycle Management 12.00 の新機能は、Business Process Testing エンティティでもサポートされています。さらに以下の Business Process Testing 機能が、ALM 12.00 に新たに導入されるか、あるいは拡張されました。

これらの機能の詳細については、『HP Business Process Testing ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

- 「[マニュアル・ランナーの改善点](#)」(15ページ)
- 「[ビジネス・プロセス・テストをプリントアウトから手動実行](#)」(15ページ)
- 「[サイト管理とカスタマイズ](#)」(15ページ)
- 「[Sprinter との統合](#)」(15ページ)
- 「[UFT との統合](#)」(16ページ)

マニュアル・ランナーの改善点

ビジネス・プロセス・テストで使用するマニュアル・ランナーでは、ユーザ・インターフェースの改善とパフォーマンスの向上に加えて、手動実行中にビジネス・コンポーネント・スナップショットを表示できるようになりました。詳細については、『HP Business Process Testing ユーザーズ・ガイド』で、ビジネス・プロセス・テストの手動実行の項を参照してください。

ビジネス・プロセス・テストをプリントアウトから手動実行

新しく追加された2つのレポートでは、プリントアウトからテスト・ステップを実行することにより、ビジネス・プロセス・テストを手動実行できます。このレポートのプリントアウトには、ビジネス・プロセス・テストの各フローのパラメータ値、反復、グループ、コンポーネント、手動ステップが示されています。使用可能なプロジェクト・レポートの詳細については、『HP Application Lifecycle Management ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

レポートにアクセスするには、テスト計画モジュール > [アナリシス]メニュー > [プロジェクト レポート]オプションを選択します。

- ビジネス・プロセス・テストとコンポーネント・ステップ
- ビジネス・プロセス・テストとコンポーネント・ステップおよびコンポーネントの詳細

詳細レポートでは、テストとスナップショットの各コンポーネントに関する詳細情報が表示されます。

ヒント: これらのレポートは、監査目的でも実行できます。

サイト管理とカスタマイズ

サイト管理では、Business Process Testing をカスタマイズする権限をグループによって設定します。たとえば、サイト管理者はビューア・グループに所属し、Business Process Testing のカスタマイズを実行できます。詳細については、[管理]タブの[ビジネス プロセス テストのカスタマイズ]アクセス許可レベルを参照してください。

Sprinter との統合

Sprinter で手動ビジネス・コンポーネントを作成できます。

次の表は、この機能をサポートするバージョンを示しています。

	ALM 11.00(サービス・パック 3以降)	ALM 11.50	ALM 11.51	ALM 11.52	ALM 12.00
Sprinter 11.00	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
Sprinter 11.50	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ

	ALM 11.00(サービス・パック 3以降)	ALM 11.50	ALM 11.51	ALM 11.52	ALM 12.00
Sprinter 11.50(パッチ 14 またはパッチ 18)	はい	はい	はい	いいえ	いいえ
Sprinter 11.52	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ
Sprinter 12.00	はい	いいえ	いいえ	はい	はい

UFT との統合

UFT との統合では、次の点が改善されています。

- **API テスト**: API オートメーション対応のコンポーネントを含むビジネス・プロセス・テストを実行すると、HP 実行結果ビューアで結果レポートを表示できます。旧バージョンでは、この機能は GUI テスト・オートメーションのみでサポートされていました。
- **新しいテスト実行環境機能**: ビジネス・プロセス・テストとフローは、UFT を使用する場合、BPT ラッパー・テスト機能を使用せず、新しいテスト実行環境機能を使用します。
- **ビジネス・プロセス・テスト**は、UFT 内で直接編集および実行できます。ビジネス・プロセス・テストとフローは UFT IDE 内でネイティブ・テストとして動作します。したがって、UFT IDE でのテスト編集作業が簡単になり、ビジネス・プロセス・テストのデバッグがスムーズになり、ビジネス・プロセス・テストの作成パフォーマンスも向上しています。詳細については、『HP Unified Functional Testing ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

ラボ管理

この項では、HP Application Lifecycle Management 12.00 のラボ管理の機能強化について説明します。


Lab Service でのプロキシ・サーバ設定

[Lab Service の設定] ページに、プロキシ・サーバを設定するタブが追加されました。プロキシ・サーバの設定では、ユーザ名とパスワードを使用する認証がサポートされます。

タイムスロットの自動延長

自動延長を有効にすると、すべてのテストが完了する前に機能テスト・セットまたはビルド検証スイートのタイムスロットが終了しても、テストを終了できるようにそのタイムスロットが自動的に延長されます。

ALM ヘルプ

HP ALM ヘルプに対話式で参照できる用語集が追加されました。用語集に含まれる用語が青色で表示され、用語の横に用語集アイコンが表示されます。用語をクリックすると、ポップアップ・ウィンドウが開いて説明が表示されます。

第2章: HP ALM Performance Center の新機能

この新機能ガイドでは HP ALM Performance Center 12.00 で導入または拡張された機能の概要を説明します。HP ALM の使用方法の詳細については、『HP ALM Performance Center ガイド』を参照してください。

ALMのメイン・ウィンドウで[ヘルプ] > [ムービー]を選択すると、HP ALM Performance Center の機能について説明するビデオもご覧いただけます。

パフォーマンス・テストで使用するクラウド・ホストのプロビジョニング	18
My Performance Center の更新	18
Analysis テンプレート	19
PAL の拡張機能	19
Performance Center REST API Reference	19
プロトコルの拡張機能	19
Virtual User Generator の機能拡張	19

パフォーマンス・テストで使用するクラウド・ホストのプロビジョニング

クラウド環境において、パフォーマンス・テストで使用するホストをプロビジョニングすることができます。新しく追加されたクラウド・ホスト機能では、次の操作を実行できます。

- プロジェクトで使用するクラウド・アカウントを定義します。
- 標準で付属するホスト・テンプレートまたはカスタマイズしたテンプレートを使用してホストのプロビジョニングを行います。
- プロジェクトにクレジットを割り当てることによって、クラウド・ホストを管理します。
- クラウド・ホストの使用状況レポートを表示し、クラウド・ホストの通知を受信します。

クラウド・ホストの詳細については、『HP ALM ラボ管理ガイド』および『HP ALM Performance Center ガイド』を参照してください。

My Performance Center の更新

My Performance Center には、次の機能が追加されています。

- テスト計画ツリーとテスト・セットを作成し、Performance Center 内でテストを完全に管理します。
- クラウド・テストング・ホストのプロビジョニングと管理を行います。
- クラウド・ホストの使用状況レポートを表示します。
- Test Express Designer により、テストの作成プロセスを簡素化します。
- 新しく作成されたシステム・パースペクティブで、テストとリソースを表示および管理します。

My Performance Center の詳細については、『HP ALM Performance Center ガイド』を参照してください。

Analysis テンプレート

HP LoadRunner Analysis でテスト結果を表示するカスタム・テンプレートを作成したら、そのテンプレートを ALM テスト・リソース・モジュールにアップロードします。これにより、他のパフォーマンス・テストにもテンプレートを適用することができます。詳細については、『HP ALM Performance Center ガイド』を参照してください。

PAL の拡張機能

パフォーマンス・アプリケーション・ライフサイクル(PAL)では、Google アナリティクスと IIS W3C 拡張ログファイル形式を使用した運用環境データ・セットの作成が可能になりました。PAL データ・セット・クリエータ・ウィザードで作成したデータ・セットは、My Performance Center からアップロードし、PAL レポートの作成に使用できます。詳細については、『HP ALM Performance Center ガイド』を参照してください。

Performance Center REST API Reference

Performance Center REST ベース API のオンライン・リファレンスが新しく作成されました。REST API を使用することにより、自動化をサポートし継続的な統合を可能にするアクションを実行できます。

プロトコルの拡張機能

一部の Virtual User Generator プロトコルが拡張され、最新バージョンのサポートが追加されました。詳細については、『HP LoadRunner 12.00 Readme』の「新機能」を参照してください。

『HP LoadRunner 12.00 Readme』は、次の場所で入手できます。

- [HP Software マニュアル Web サイト](#)
- [HP Live Network \(HPLN\)](#)

Virtual User Generator の機能拡張

LoadRunner の Virtual User Generator (VuGen) のユーザビリティ、安定性、パフォーマンスが改善しました。詳細については、『HP LoadRunner 12.00 Readme』の「新機能」を参照してください。

『HP LoadRunner 12.00 Readme』は、次の場所で入手できます。

- [HP Software マニュアル Web サイト](#)
- [HP Live Network \(HPLN\)](#)

